

選 択 A 群	デジタル回路				2				2
	情報解析B					2			2
	情報論理学					2			2
	プログラム設計					2			2
	情報論A					2			2
	情報論B						2		2
	計算論A					2			2
	計算論B						2		2
	ソフトウェア構成論						2		2
	計算機援用工学A						2		2
	小 計	20							
選 択 B 群	数学A			2					2
	数学B			2					2
	数学C				2				2
	数学D				2				2
	計画数学A				2				2
	計画数学B					2			2
	統計数学A					2			2
	統計数学B						2		2
	応用数理A					2			2
	応用数理B						2		2
	応用数理C					2			2
応用数理D						2		2	
小 計	24								
選 択 C 群	固体素子概論					2			2
	マンマシンインターフェイス論						2		2
	言語処理工学B						2		2
	知識工学						2		2
	計算機援用工学B						2		2
	マルチメディア工学						2		2
	計算機科学特論A						2		2
	ソフトウェア科学特論A								
	計算機科学特論B						2		2
	ソフトウェア科学特論B								
	数値計算					2			2
	工業経営学							2	2
	科学技術論A						2		2
	科学技術論B						2		2
小 計	24								
計	133								

(卒業に要する専門教育科目の単位)

1. 専門教育科目のうち必修科目 65 単位, 選択科目については A 群から 8 単位以上, B 群から 8 単位以上, C 群から 6 単位以上, 計 87 単位以上を修得すること.
2. 指定科目以外の他学部, 他学科若しくは他コースの授業科目 又は国際交流科目若しくはコミュニケーションデザイン家屋を修得したいときには, 学科長(又はコース主任)があらかじめ認定すれば選択科目の単位として認められる.

(特別研究(卒業研究)を開始できる条件)

・平成 21 年度以降入学生対象の条件

1. 共通教育系科目, 専門基礎教育科目, 専門教育科目について, 所定の卒業要件単位のうち, 特別研究を除く未習得科目が 5 科目以下であること.
2. 専門教育科目について, 「情報科学序説」「情報科学 PBL」「基礎工学 PBL (情報工学 A)」「基礎工学 PBL (情報工学 B)」「情報科学演習 C」「情報科学演習 D」「情報科学実験 A」「情報科学実験 B」「情報科学実験 C」「情報科学ゼミナール A」「情報科学ゼミナール B」「防災特論」を修得すること.

・平成 20 年度以前入学生対象の条件

1~3 年次配当の授業科目について

1. 共通教育系科目及び専門基礎教育科目について, 所定の卒業予定単位をすべて修得すること.
2. 専門教育科目について, 1 年次及び 2 年次配当のすべての必修科目を修得すること.
3. 専門教育科目について, 3 年次配当の必修科目, 2 年次及び 3 年次配当の 選択 A 群及び B 群から合計 27 単位以上を修得すること. ただし, 必修科目については「情報科学演習 C」「情報科学演習 D」「情報科学実験 B」「情報科学実験 C」「情報科学ゼミナール A」「情報科学ゼミナール B」「防災特論」を含め 13 単位以上, かつ選択 A 群の修得単位と合わせて 19 単位以上を修得すること. また, 選択 B 群から 4 単位以上を修得すること.